

令和7年10月10日

(宛先)松山圏域連携協議会会長

(団体又は代表者の住所)〒799-3111

伊予市下吾川△△番地△

(団体名)●●●女性会

(代表者職名・氏名)会長 ○○ ○○

(担当者氏名)○○ ○○

(連絡先)電話:089-▲▲▲-1234

FAX:089-▲▲▲-1235

メール:□□□@wmail.ne.jp

## 松山圏域交流活動促進事業補助金交付事前協議書(単独事業用)

松山圏域交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり事前協議します。

活動日	令和7年10月26日	利用予定の公共交通又は貸切バス	別紙のとおり。			
目的地 (場所の名称(市町名))	厳島神社(廿日市市)	活動参加者数	15名			
活動内容	●●●女性会の視察旅行として厳島神社を参拝し、会の親睦を深める。	公共交通又は貸切バス利用者数	往路	15名	復路	15名
		補助金交付申請予定額	50,000円			
団体要件 (該当するものをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の構成員の過半数は地域の住民や事業者が占めている <input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営に関する規程(規約、会則、定款等)を設けている <input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営に関する規程で、地域の維持や課題解決、活性化等につながる地域活動を行っていることが確認できる					

※ 上記申請予定額を上回る額で申請を受け付けることはできませんので注意してください。

※ 団体の運営に関する **受付市町で記入** (規約、定款等)を提出してください。

市町記入欄

受付日:10月10日 事務局確認日: 月 日 回答日: 月 日 回答市町:

補助金の交付申請を受け付けます。活動実施後30日以内又は3月31日のいずれか早い日までに申請してください。

補助金交付予定額: \_\_\_\_\_ 円 受理番号: \_\_\_\_\_

※ 上記申請予定額での補助金交付を決定したわけではありません。申請の内容によっては、不交付決定または上記申請予定額を下回る額で交付決定となる場合があります。

申請予定額が本事業の予算残額を超過するため、補助金の交付を受けられません。

活動内容が補助対象と認められないため、補助金の交付を受けられません。

貴団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。

交流する団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。

( )ため、補助金の交付を受けられません。

様式第1-2号 別紙

小児運賃、障害者割など

※事前協議の申請予定額を超えて補助金を交付する事はできないため、往復割や団体割など、割引後の利用額が不明確な場合は通常料金を記載してください。

【公共交通等利用予定】

「公共交通型」の場合は、3名以上で公共交通を利用する予定の区間を記入してください。

「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用する予定の区間を記入してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用者数	利用額①×②/2 (貸切バスは①/2)	割引の種類 該当の場合のみ記入
貸切バス	伊予市駅 ⇔ 宮島駅口	100,000 円	15 名	50,000 円	
	⇒	円	名	円	
	⇒			円	
	⇒			円	
				円	
				円	
				円	
				円	
		③合計額		50,000 円	
		③を千円未満切り捨て補助交付申請予定額		50,000 円	

「貸切バス型」は、往復の利用者数が10名以上となっているか確認してください。

単独事業において、貸切バスを15名で利用する場合、①15名×5千円=7万5千円又は②1事業につき10万円のいずれか低い方の額が補助上限額となります。

※公共交通等の種類

JR、路線バス、高速バス、コミュニティバス、乗合タクシー、フェリー、高速船(中島汽船・石崎汽船)、路面電車、貸切バスなど(乗用タクシー、新幹線は除く)

③を千円未満切り捨てた額または補助上限額のいずれか低い方を記入してください。(別の補助金等を受給した(する予定の場合)は差し引いた額を記入)

【貸切バスを利用する場合】

以下に記入の上、貸切バスの借上げに係る見積書を提出してください。

バス運行会社名	有限会社〇〇観光	一般乗合旅客自動車運送事業	許可あり※ <input checked="" type="checkbox"/>	一般貸切旅客自動車運送事業	許可あり <input checked="" type="checkbox"/>
貸切バスを利用する理由を記入してください。 目的地までに距離があるため。					

※一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けていなくても、コミュニティバスやスクールバスを運行している事業者であれば、許可ありとみなすことができます。その場合、は入れずに、「運行委託契約書」「約款」「仕様書」等の写しを添付してください。詳しくは、該当のバスの運行を委託している松山圏域内の各市町担当課に問い合わせてください。

【補助金等の受給確認】

他の団体から公共交通の利用に要する経費の補助等を受けた又は受ける予定であり、当該補助等が他の補助等の重複申請を認めていない場合は併給できません。本件以外の補助金等の受給状況を回答してください。

<p>本事前協議に係る経費について、以下の(1)または(2)から補助金等を受給した又はする予定である。</p> <p>(1) 国・県・松山圏域内の市町</p> <p>(2) 国・県・松山圏域内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等</p>	<p><input type="checkbox"/> はい(カッコ内に補助金等の名称等を記入してください。)</p> <p>補助金等の名称： 受給額(受給予定額)： 円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p>
---	--

【団体の概要】

※「Q&A」の対象団体一覧表で「○」となっている団体等は記入不要です。

団体名			
設立時期	( 昭和・平成・令和 )	年	月
活動状況	主な活動地域(原則、市町域内を最大の範囲とする。)		
	活動地域に居住する構成員数/団体の構成員数	人/	人
活動目的			

様式第3-2号(委任払用)

## 補助金交付申請(単独事業/貸切バス型)

令和7年10月31日

(宛先)松山圏域連携協議会会長

(団体の所在地又は代表者の住所)

〒799-3111

伊予市下吾川△△番地△

(団体名)●●●女性会

(代表者職名・氏名)会長 ○○ ○○

(担当者)○○ ○○

(連絡先)電話:089-▲▲▲-1234

FAX:089-▲▲▲-1235

メール:□□□@wmail.ne.jp

## 松山圏域交流活動促進事業補助金交付申請書兼請求書

別紙のとおり、活動を実施しました。ついては松山圏域交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり申請(請求)します。なお、確認事項に記載の内容について同意します。

交付申請額: 50,000 円

上記の金額の受領を以下の者へ委任します。

委任状	住所	〒799-3111 伊予市下吾川■■■番地
	氏名	●●●女性会 会計担当 □□ □□

以下の口座に振り込んでください。

振込先	金融機関コード				店舗コード			記号 (ゆうちょの場合)			金融機関名			店舗名		
	1	2	3	4	5	6	7				□□□	銀行 組合	金庫 農協	□□□支	店 所	
	預貯金口座の種別							口座番号								
	普通・当座							8910111								
	口座名義人 (姓)		マル マル マル マル ジ ヨ セ イ カ イ カ イ ケ イ タ ン ト ウ シ													

※ 「①団体の代表者名義」または「②団体名が確認できるその他の名義」の口座に振り込みます。

## 【確認事項】

- 補助金交付の審査のため、松山圏域連携協議会の担当職員が交流した団体等に、申請内容等について照会することに同意します。
- 申請内容に影響のない軽微な修正や明らかな誤字脱字の訂正を松山圏域連携協議会の担当職員が行うことを承諾します。
- 松山圏域交流活動促進事業費補助金交付要綱の規定による会長の決定又は指示に従わなかったためにその交付を受けられなかった場合は、そのことについて争いません。
- 上記に記載された受取口座への振込手続後、記載間違い等の事由によりその振込みが完了せず、かつ、申請後30日以内に、連絡・確認ができない場合には、当該申請が取り下げられたものとみなします。
- 偽りその他不正の手段により、及び交付条件に違反して補助金を受給していることが判明した場合には、補助金を返還することを誓約します。

## 松山圏域交流活動促進事業 活動実施報告書(単独事業用)

団体名	●●●女性会			
活動日	令和7年10月26日			
活動参加者数	15名			
公共交通又は貸切バス利用者数	往路	15名	復路	15名
利用した公共交通又は貸切バス	別紙のとおり。			
目的地の名称(市町名)	厳島神社(廿日市市)			
活動内容 どのような活動をした、できるだけ具体的に記入してください。	会の視察旅行として厳島神社を参拝し、宮島水族館を訪れた。近隣の飲食店にて昼食を摂り、午後は広島市内を観光した。			
活動効果 事業実施の感想だけでなく、上記活動により、団体にどのような効果があったか、できるだけ具体的に記入してください。	<p>コロナ禍でしばらく開催できていなかった視察旅行が行えたことにより、会員どうしの距離が近くなった。会員からは、今後も活動を続けていきたいとの声が上がっている。</p> <p>団体に支出した費用(概算) 約 <b>52,000</b> 円</p>			
本補助事業に関する御意見 本補助事業について、良かった点や改善すべき点がありましたら記入をお願いします。	<p>(自由記入)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>当該活動を行ったことで、参加者個人ではなく、<b>団体</b>にどのような効果があったのかという観点から記入してあるか、確認してください。また、経済効果として、施設利用や飲食など団体に支出した費用を記載ください。</p> </div>			

※ 以下の書類を併せて提出してください。

- (1) 事業実施が確認できる写真
- (2) 活動参加者の名簿
- (3) 「交通費の支払を証明する資料」又は「利用区間の運賃が確認できる資料及び公共交通の利用が確認できる写真」
- (4) 事業実施が確認できる書類(団体内の案内文、チラシ、実施要領等)
- (5) 貸切バス型の場合は、貸切バスの借上げに係る領収書(写しでも可)を必ず提出してください。

様式第4-2号 別紙

小児運賃、障害者割、往復割、団体割など

【公共交通等利用報告】

「公共交通型」の場合は、3名以上で公共交通を利用した区間を記入してください。

「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用した区間を記入してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用者数	利用額①×②/2 (貸切バスは①/2)	割引の種類 該当の場合のみ記入
貸切バス	伊予市駅 ⇒ 宮島駅口	100,000 円	15 名	50,000 円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	

※公共交通等の種類

JR、路線バス、高速バス、コミュニティバス、乗合タクシー、フェリー、高速船(中島汽船・石崎汽船)、路面電車、貸切バスなど(乗用タクシー、新幹線は除く)

③合計額	50,000 円
③を千円未満切り捨て補助金交付申請額	50,000 円

③を千円未満切り捨てた額または事前協議の補助金交付予定額のいずれか低い方を記入してください。  
(別の補助金等を受給した(する予定の場合)は差し引いた額を記入)

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和 7 年 10 月 31 日

申請団体名 ●●●女性会

代表者 職・氏名 会長 ○○ ○○

※ 支払を証明する書類(利用者数分の領収書や切符の写真など)が提出できる場合は、署名不要です。

※ 貸切バス型の場合は、貸切バスの借上げに係る領収書(写しでも可)を必ず提出してください。

【補助金等の受給確認】

他の団体から公共交通の利用に要する経費の補助等を受けた、又は受ける予定であり、当該補助等が他の補助等の重複申請を認めていない場合は併給できません。本件以外の補助金等の受給状況を回答してください。

<p>本事前協議に係る経費について、以下の(1)または(2)から補助金等を受給した、又はする予定である。</p> <p>(1) 国・県・松山圏域内の市町</p> <p>(2) 国・県・松山圏域内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等</p>	<p><input type="checkbox"/> はい(カッコ内に補助金等の名称等を記入してください。)</p> <p>補助金等の名称: _____</p> <p>受給額(受給予定額): _____ 円</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p>
--	---

様式第6号

活動参加者名簿(実績報告)

参加者氏名		公共交通又は貸切バスの利用 (利用あり:○ 利用なし:×)	
		往路	復路
1	伊予 一郎	○	○
2	東温 二郎	○	○
3	久万 三郎	○	○
4	松前 花子	○	○
5	砥部 陶子	○	○
6	松山 道子	○	○
7	広島 太郎	○	○
8	呉 花子	○	○
9	竹原 一郎	○	○
10	三原 次郎	○	○
11	大竹 三郎	○	○
12	岩国 四郎	○	○
13	上関 五郎	○	○
14	浜田 六郎	○	○
15	美郷 七郎	○	○
16			
17			
18			
19			
20			